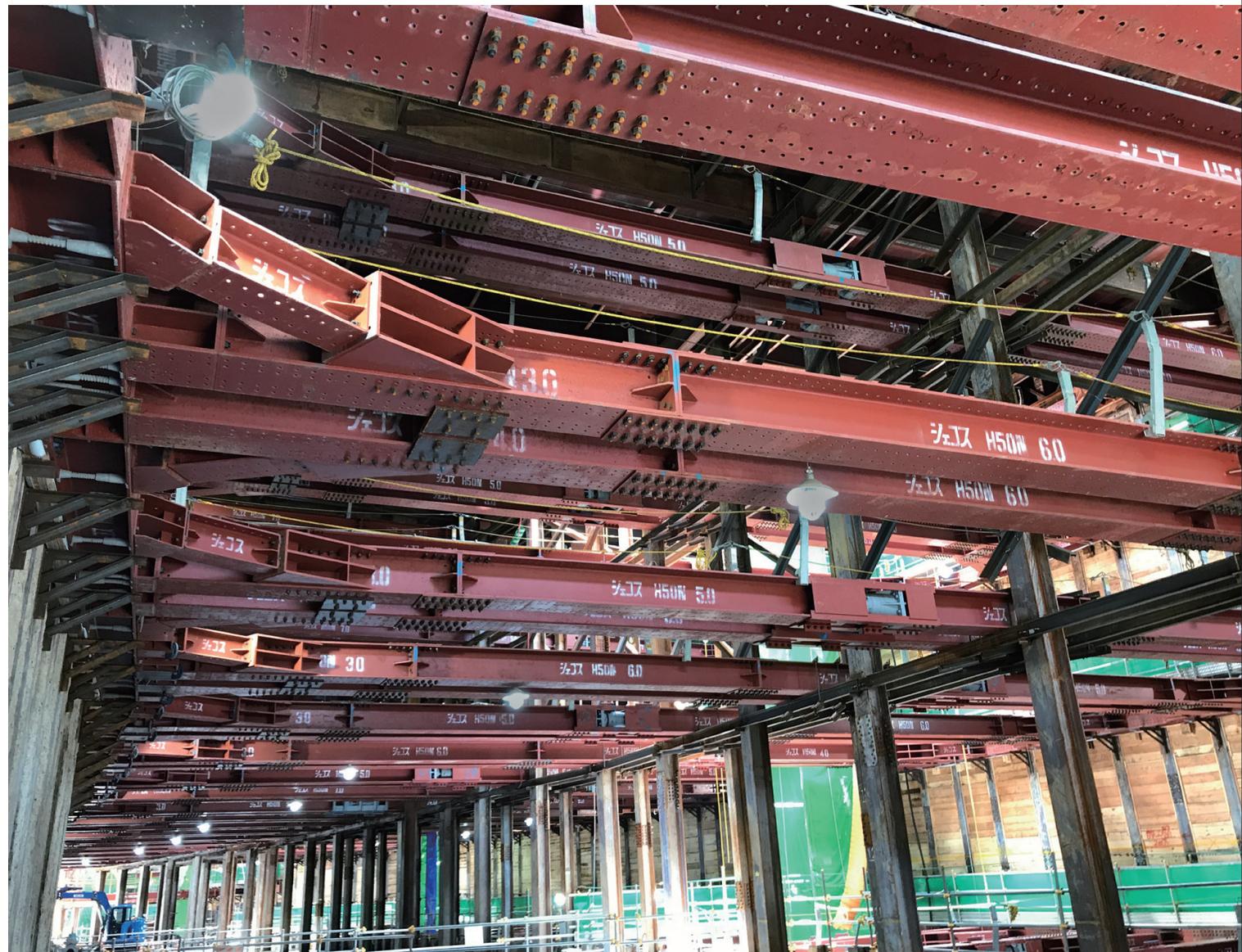


第53期 株主通信 中間報告書

2019年4月1日 ~ 2019年9月30日

GECOSS REPORT



社長メッセージ

採算性向上により一層重点を置いた受注活動を進め、
上期史上最高売上を達成しました。



■当第2四半期の概況について

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）におけるわが国経済は、米中貿易交渉の動向が不透明ななか、中国向けを中心に弱含む外需を堅調な内需が下支えする構造が続いており、消費増税による一時的な消費の減はあるものの、緩やかな景気回復が持続するものと見られます。当社グループの属する建設業界におきましては、需要は都市部を中心に引き続き堅調に推移しましたが、一方で労働力不足、物流逼迫化によるコストの高止まりが続いております。

このような経営環境のなか、当社グループでは、受注活動において採算性向上により一層重点を置くとともに、各工程における品質向上およびコスト削減、コストアップ抑制に注力し、収益の確保

に努めてまいりましたが、仮設鋼材事業、建設機械事業、連結合計とともに増収ながら、経常利益減となりました。

■下期の見通しおよび 期末に向けて

建設需要は都市部を中心に堅調さが続いており、下期の後半にかけて大型プロジェクト物件の立ち上がりが見込まれ、仮設鋼材の稼働率も上昇するものと見ております。一方で労働力不足、物流逼迫化によるコストの高止まりが続いていることから、足元の最重点課題である利益率向上のために、価格改善とコストアップ抑制、無駄なコストの削減をさらに徹底し、採算性改善に努めてまいります。

以上を踏まえ、2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、売上高は工事、販売の増加等により1,110億円

（前回発表予想比20億円増）となる見通しです。利益につきましては、営業利益64億円、経常利益67億円、親会社株主に帰属する当期純利益46億円を据え置いております。

なお、当社は株主に対する利益還元を経営の重点課題として位置付けており、中期経営計画（2018～2020年度）において、配当性向を30%程度に高めることとしております。当期の中間配当につきましては、期初の見通しのとおり1株当たり15円とさせていただきます。また、期末配当につきましても、普通配当1株当たり20円とし、年間ベースで普通配当1株当たり35円を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **馬越 学**

半期トピックス

1

TOPICS

Ecoラム®工法がNETIS事後評価技術（V登録）に再登録

Ecoラム®工法はH形よりも強度の高い角形の鋼管（コラム）を使うことで、従来必要であった垂直方向の支えである中間杭が不要となる工法です。中間杭の設置や解体に伴う工期が短縮され、さらに重機の作業スペースが確保でき、作業効率を向上させることができます。今回、国土交通省からこれらの点に高い評価をいただき、再登録となりました。

今後も安心、安全、工期の短縮につながる新商品、新工法の開発を進めてまいります。



2

TOPICS

橋梁事業の領域拡大

この度、仮設橋梁「PABRIS®」の沖縄県納入が完了し、北海道から沖縄まで全国31都道府県およびラオスでの採用実績となりました。

PABRIS®は簡易組立式の橋梁で、当社と株式会社横河ブリッジとの業務提携により、仮橋の基礎部分から本体までの施工をワンパッケージでお届けしております。橋梁架け替え時の迂回路や工事用道路・栈橋、近年頻発している大規模災害時の応急橋など幅広い分野でお使いいただけます。

今後も橋梁関連の老朽インフラ更新需要や災害からの復旧・復興対応など幅広く対応できる体制を整備し、全国のお客様の様々なニーズにお応えしてまいります。



3

TOPICS

大阪オフィス移転

7月に大阪営業部のオフィスを大阪市西区より福島区に移転いたしました。

新オフィスのコンセプトは「仕事の進め方改革による生産性向上」「コミュニケーションの活性化」です。大阪万博等の建設需要増加に伴う増員対応のためだけでなく、自席を外しての業務や部署の垣根を越えたコミュニケーションの場としての「コラボエリア」を新設し、従来よりも広い執務スペースを確保しております。

今後も全国の事業所でペーパーレス化への取組みや業務効率化、働き方改革を進めてまいります。



4

TOPICS

ホームページ全面リニューアル

10月に当社ホームページを全面リニューアルいたしました。

アクセスして最初に登場するメインビジュアルには、写真家・西澤丞氏の作品（ビジュアル1枚目）や、お客様よりご提供いただいた当社の関わった現場写真を使用しており、建設現場の魅力や迫力を感じ取っていただけたと思います。IRページでは、株主の皆様にご覧の状況をより分かりやすく見ていただけるように、チャートジェネレーターを導入いたしました。また、スマートフォンやタブレットなどモバイル端末での表示にも対応しております。

今後もすべてのステークホルダーの皆さまへの情報の充実を図ってまいります。



ビジネス紹介

仮設工事のトップランナーとして、日本の大型インフラ建設を支えています。

私たちの暮らしを支えるビルや道路などの大型のインフラ建設に欠かせない地下の基礎工事において

ジェコスグループは仮設の山留を中心とした材料供給・工事を行っております。

今後は、「ジェコスグループ10年VISION」をもとに、その領域を周辺事業に広げ、地下工事一式を受注する体制を構築してまいります。

WEB 詳しくは「事業紹介」へ

仮設鋼材事業 建設仮設材の賃貸・販売

仮設鋼材事業 仮設工事の請負



仮設鋼材事業 加工・橋梁製品の製造・賃貸・販売

建設機械事業 建設機械の賃貸

ジェコスグループ10年VISION

コンセプト

「安心、安全な社会の建設に貢献し
働きがいの向上を追求する企業」へ

目指す姿

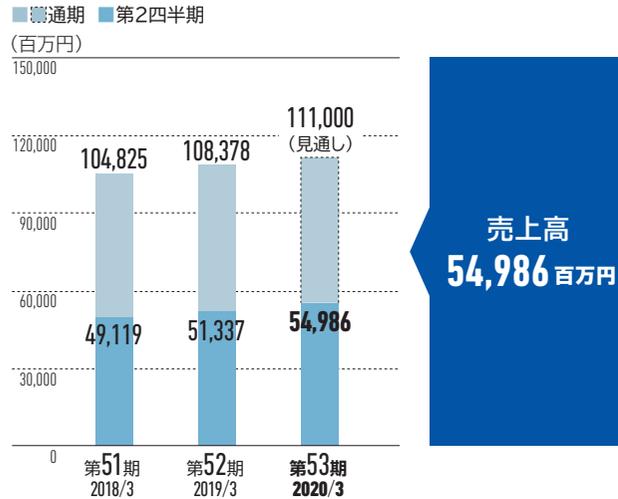
- 1 「重仮設リースと施工の企業」から
「地下工事とインフラのトータル・
ソリューション企業」への脱皮
- 2 当社が中心となり、提携・協力企
業とのシナジーを発揮するネット
ワーク・コーディネーション
- 3 先端技術を積極的に導入した、先
進的オペレーションの追求

WEB 詳しくは
「ジェコスグループ
10年VISION」へ

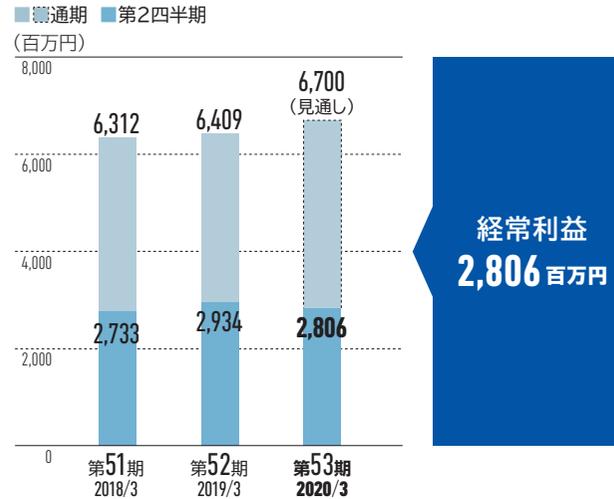
連結財務ハイライト(当第2四半期)

WEB 詳しくは「業績ハイライト」へ

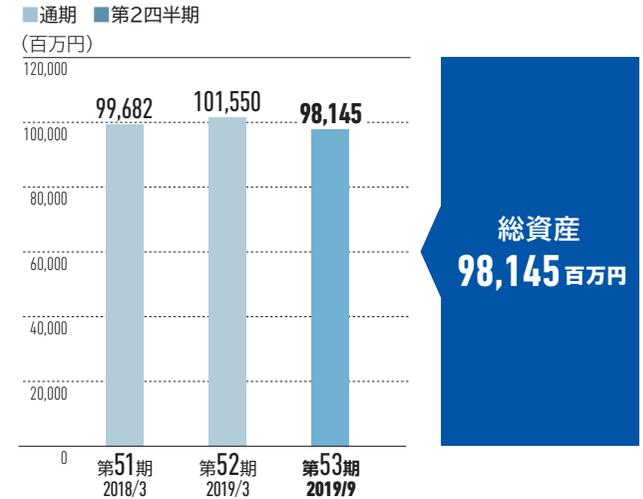
売上高



経常利益

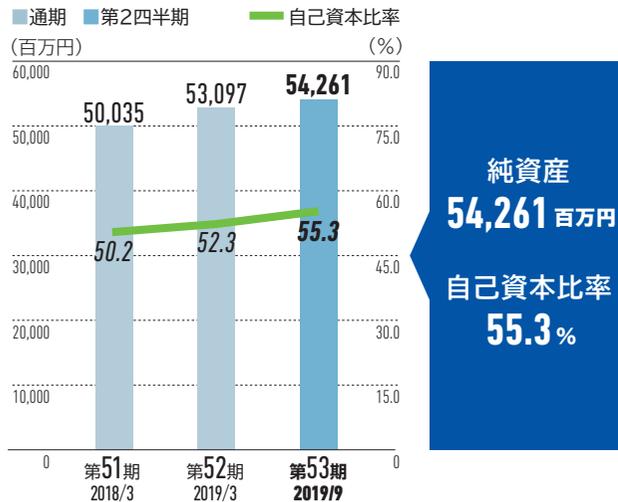


総資産

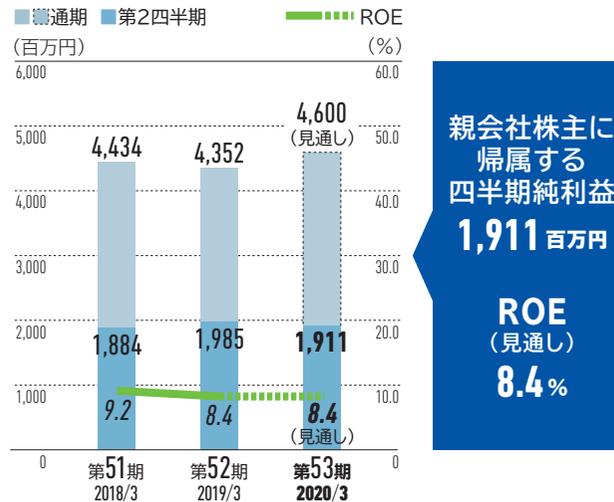


(注) 会計基準の一部改正により、第51期は当該影響を加味した遡及修正値を使用しています。

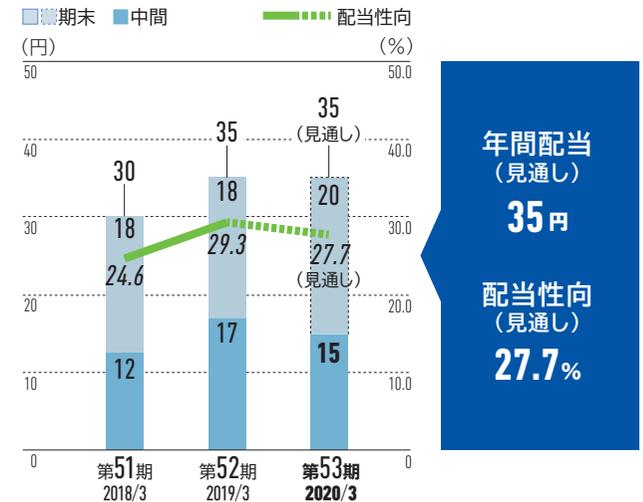
純資産・自己資本比率



純利益・ROE



配当



株主メモ

WEB 「企業情報」はこちら

WEB 「株式情報」はこちら

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告
なお、やむを得ない事由により電子公告をすることが
できない場合は日本経済新聞に掲載します。
※公告掲載の当社ホームページアドレス
[▶https://www.gecoss.co.jp/](https://www.gecoss.co.jp/)



● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



安全衛生大会 (東京)



仮設橋梁「PABRIS®」



女性初の海外トレーニー



夏休み子供会社見学会 (大阪)